

平成28年度に樹立・策定する渡良瀬川森林計画区の概要

1 森林計画区の概要



大坊山風景林及び足利方面の展望
(足利市)



地域のイベントにおける国有林PR活動の様子
(足利市)

ア 位置

当計画区は栃木県の南西部に位置し、足利市、佐野市、鹿沼市の3市に所在する国有林3千ha（官行造林地を含む）が計画の対象です。

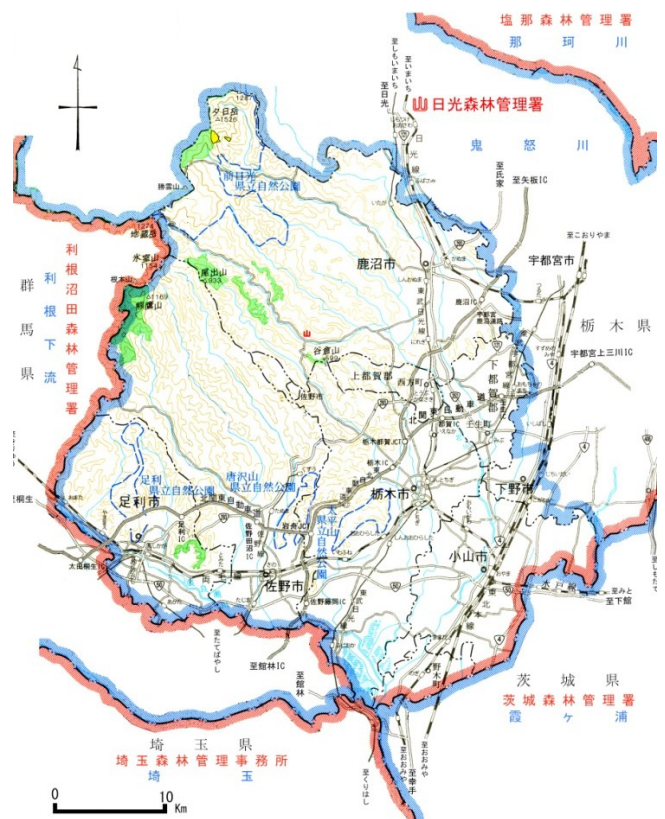
イ 国有林の特徴

- 当計画区の国有林は、大芦川、思川、永野川、秋山川、彦間川等の源流部に位置しており、国有林の8割が水源かん養保安林に指定されています。
- 鹿沼市に所在する国有林は、良好な自然環境を背景に、前日光県立自然公園に指定されているほか、足利地区にある大坊山周辺の国有林は風景林に設定されており、都市近郊林として森林レクリエーションや保健休養の場として、四季を通じて多くの人々に利用されています。
- スギ、ヒノキを主として、古くから林業が盛んな地域ですが、近年ツキノワグマやニホンジカによる森林被害が拡大している状況にあります。

ウ 森林資源の状況

人工林面積は1.9千ha、天然林面積は1.1千haです。人工林（面積割合）は主に、スギ（50%）、ヒノキ（31%）、カラマツ（7%）で、林齢構成は21～40年生が25%、41年生以上が71%となっており、利用期に達した林分が充実しています。天然林は主にアカマツ、クリ、コナラ等が生育しています。

渡良瀬川森林計画区の位置



凡 例	
	森林管理署等界
	森林計画区界
	国有林
	官行造林地
	森林管理署
	森林事務所

2 現行計画の概要

ア レクリエーションの森

風景林	1 箇所	230 ha
-----	------	--------

イ 伐採・保育事業量

主伐	18千m ³
間伐	24千m ³
人工造林	59 ha
天然更新	9 ha
下刈	272 ha
つる切	30 ha
除伐	36 ha



大坊山風景林におけるイベントでの丸太切り体験(足利市)

ウ 林道等の事業量

林道等開設	3 路線	2,800 m
林道改良	13 路線	440 m

エ 治山の事業量

保安林整備	84 ha
保安施設	1 箇所



路網の整備と併せた高効率の生産事業(鹿沼市)



間伐材の使用による自然と調和した治山事業(鹿沼市)

3 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ、公益重視の管理経営の一層の推進に取り組むほか、我が国の森林・林業再生への貢献として、民有林と連携した施業、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。

このような、基本的な考え方に基づき、当計画区において以下の取組を推進します。

- (1) 森林の持つ公益的機能をより一層発揮するため、針広混交林化、複層林化など多様な森林づくりを推進します。
- (2) 地球温暖化防止に貢献する森林吸収量の確保のため、着実な間伐の実施に加え、主伐と主伐後の効率的な再造林等に積極的に取り組みます。
- (3) 生物多様性保全へ貢献するため、関係行政機関等と連携しつつ、森林生態系の保全・管理や溪畔林再生の取組を推進します。
- (4) 民有林と連携して施業を行う森林共同施業団地の設定や、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで高効率な作業システムの普及などを通して、森林・林業の再生に取り組みます。
- (5) 林産物の供給等を通じて、地域の川上・川中・川下の関係者との連携を強化し、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。
- (6) 「国民の森林」として、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等を支援します。
- (7) 松くい虫等の森林病害虫による諸被害に対しては、早期発見に努めるとともに、被害の発生を確認した箇所については、蔓延防止対策を実施します。
- (8) ニホンジカやツキノワグマ等による剥皮等の被害が発生している地域については、剥皮対策を講じるとともに、関係機関と連携して被害防止に努めます。

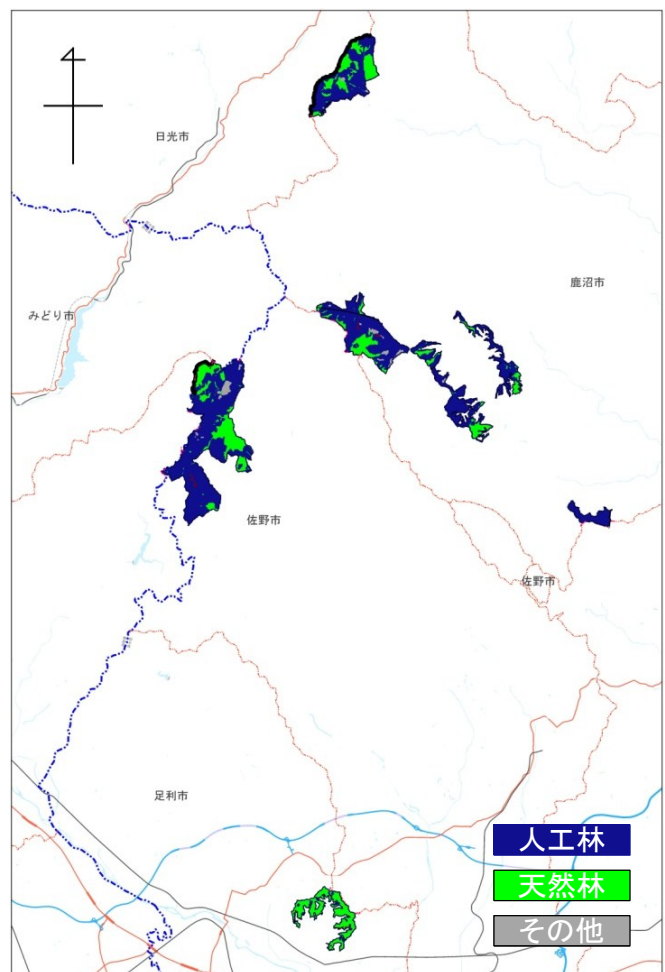
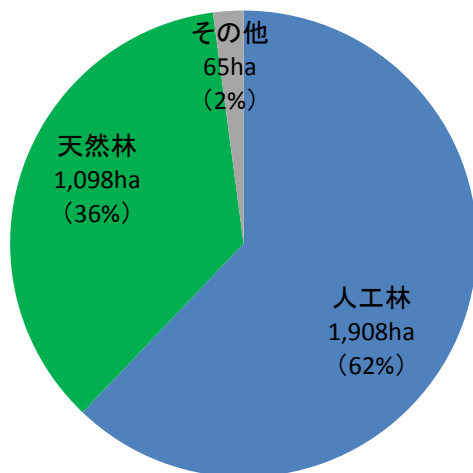
(参考1) 森林資源の現況

○市町村別森林面積等

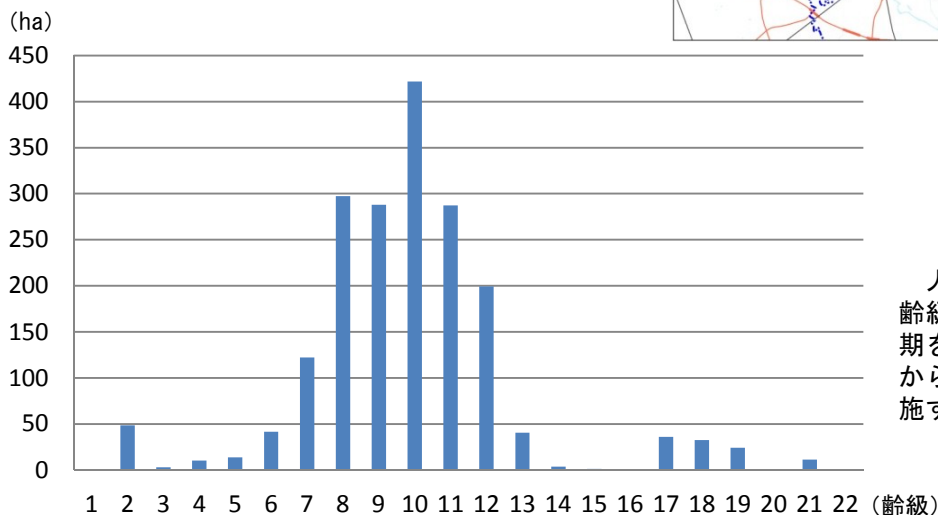
市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	国有林 C (ha)	官行造林地 (ha)	森林率 D=B/A(%)	国有林率 E=C/B(%)
足利市	17,776	7,949	236	—	45	3
栃木市	33,150	8,398	—	—	21	—
佐野市	35,604	21,906	1,245	—	62	6
鹿沼市	49,064	33,696	1,590	81	69	5
小山市	17,176	606	—	—	4	—
下野市	7,459	309	—	—	4	—
壬生町	6,106	410	—	—	7	—
野木町	3,026	218	—	—	7	—
計	169,361	73,492	3,071	81		

- 注) 1. 市町村面積は、「国土地理院速報値(平成26年度)」による。
 2. 森林面積は、国有林の地域別の森林計画書、国有林面積は、地域管理経営計画書の数値である。
 3. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

○人工林・天然林別割合面積



○人工林の齢級別面積



人工林の齢級別では、8～12 齢級(36～60年生)が多く、利用期を迎えている森林が多いことから、計画的な間伐と主伐を実施する必要があります。

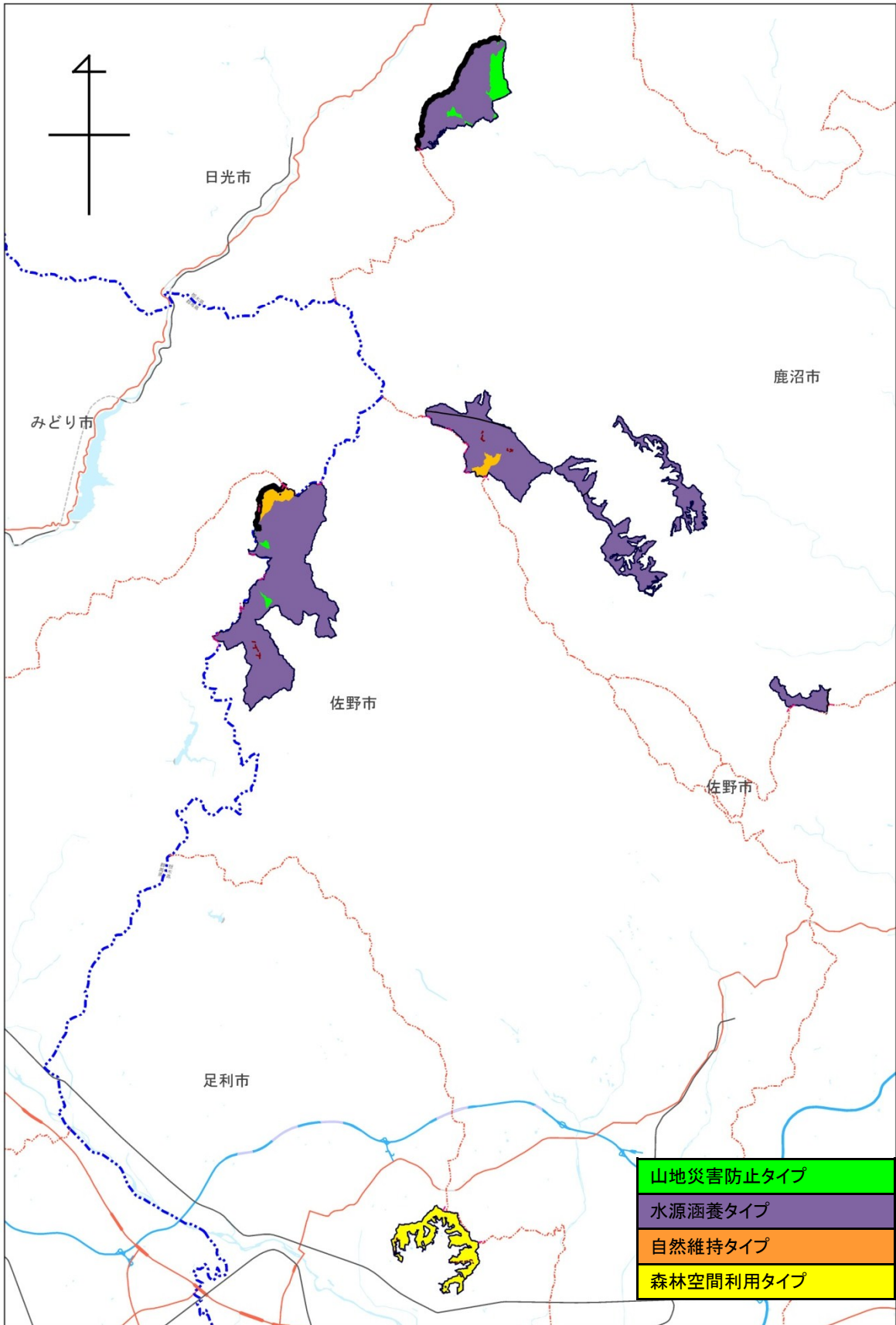
(参考2)機能類型

機能類型区分について

国有林の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進することとし、それぞれの国有林を重視すべき機能に応じて下表のとおり5つのタイプに区分し、それぞれの機能を最大限発揮させるための施業を推進しています。

機能類型区分		機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	比率
山地災害 防止タイプ	土砂流出・崩壊 防備エリア	山地災害防止及び土壌保 全機能の発揮を第一とすべ き森林	根や表土の保全、下層植 生の発達した森林の維持	4%
	気象害防備 エリア			—
自然維持タイプ		原生的な森林生態系や希 少な動植物の生息・生育す る森林など生物多様性保全 機能の発揮を第一とすべ き森林	良好な自然環境を保持す る森林、希少な動植物の生 息・生育に適した森林の維 持	3%
森林空間利用タイプ		保健、レクリエーション、 文化機能の発揮を第一とす べき森林	保健・文化・教育的利用 の形態に応じた多様な森林 の維持・造成	8%
快適環境形成タイプ		快適な環境の形成機能の 発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、 抵抗性がある樹種から構成 される森林の維持	—
水源涵養 ^{かん} タイプ		水源涵養機能の発揮を第 一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長 期化、広葉樹の導入による 育成複層林への誘導等を推 進し、森林資源の有効活用 にも配慮	85%

機能類型位置図



(参考3)レクリエーションの森

種 類	特 徴	箇所数	面積 (ha)
風 景 林	名所、旧跡等と一帯となって景勝地を形作ったり、展望台等から眺望される美しい森林です。	1	230

名 称	面積 (ha)
大坊山風景林	230



大坊山風景林の様子(足利市)



国	有	林
風	景	林